



とっても  
光栄です！

2月4日（木）の午後、南魚沼市の温泉旅館「龍言」様が、当校にて社員研修を行いました。当校の高等部MSGカフェの取組が特にスタッフの参考になるとのことで、ゆっくり時間をかけて見学していかれたのです。

MSGカフェの取組は、「接客」「ドリップバックコーヒー製造」「カップや包装袋等制作」の3つの活動からなっています。3つの活動を担当する全ての生徒が手際よく作業する様子、それぞれに対する教師の必要最小限の支援や環境の工夫などが、研修の中心的な対象になりました。

# 「龍言」社員研修

一流旅館のスタッフ 30 名が学校に学びに来た！



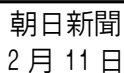
「龍言」は、上杉景勝・直江兼続で有名な坂戸山のふもとにある温泉旅館。庄屋や豪農の館を移築した純和風の建物や 4000 坪の大庭園、南魚沼で採れる四季折々の食材を使った料理、南魚沼独特のあたたかいおもてなしが好評の老舗一流旅館です。

スタッフの皆さんは自らを高めるため、常日頃から社員研修を重ねておられるとのことです。

1 月に実施した当校「学校見学会」に参加した龍言の営業企画室長 宇津木洋行さんが、「企業がこの学校に学ぶべきだ」と当校を高く評価くださって、この度の社員研修につながりました。とても光栄に思います。

※ 極めて一部ですが、紹介させていただきます。

- 写真は右から細川さん、樋口達也さん（当校小6）、  
樋口さん母、南雲権治教育長



大会会場のゲレンデを試走し、地元の人たちと談笑する細川佳代子さん（右）＝南魚沼市

五日町スキー場

## 細川さん「見に来て」

日野圭一は、このころの隆興、一面の銀世界、万金の財態になっていた。この日、細川さんは地元の人たちと試走を繰り返し、「青空の下で滑ることが出来、久しぶりに幸せな気持ちになった」と笑顏いっぱいになっていた。12日の開会式を楽しみにしていると言ひ、地元の人たちとの懇談でも「出場するアスリートも支えるボランティアの方々も、みんなが『やって良かった』と思うところの大会になれば」と繰返口にした。

試走を終えた細川さんは取材に、「ベストを尽くしてゴールを目指すアスリートたちの姿をぜひ会場で見てあげてください。必ず感動します」と語り、多くの来場を呼びかけていた。

(江川慎郎)

(江川慎太郎)

障害者雇用を促進しよう  
と、南魚沼市の総合支援学  
校で先週、地域の子供たち  
などを招き見学会が開かれ  
た。案内や会進行は全て同  
校高等部生徒が行い、来校  
者を感心させていた。

ハローワーク南魚沼と総  
合支援学校が共催。管内の  
15事業所・機関の担当者19  
人が来校した。

青木仁校長は高等部生徒  
が市立図書館で定期的に力  
づきを聞き接客を学んでい

ることを挙げ「地域に就職できるよう職業教育に力を入れていく」と説明。ハロロを「ワーク南魚沼の大嶋和仁所長は「生徒が役割を全部する姿を見てほしい」と呼び掛け。

来校者は生徒がコーヒード豆をひいたり包装袋を製作したりする作業などを見学。南魚沼市の温泉旅館「龍言」の営業企画室長、宇津木洋行さん(37)は「さちん」と役割をこなしていた。生徒が働き対価を得られる仕組みを考えていきたい」と話した。

新潟日報  
1月21日

2月10日、南魚沼障害者福祉援会の幹事長 山田良夫さん（有限会社ウイング取締役）と事務局長 櫻井政春さんの2名が来校され、SOアスリートの野澤敬音さん（中3）と山口大將さん（小5）に激励金を手渡しました。

南魚沼障害者福祉後援会は、湯沢町と南魚沼市在住のＳＯアスリートへの支援活動を継続して行っています。今年は当校の２人を含めて１０名の方を激励したそうです。

南魚沼障害者福祉後援会：南魚沼市八幡 115-4 電話 025-773-3232

※ 南魚沼障害者福祉後援会は、約2,500名の会員から構成された団体で、窓口は南魚沼福祉会「魚野の家」にあります。

Google 等で検索。  
すぐ分かります。

まちの皆様や  
報道関係者による  
当校の記事！  
(リンク)  
※ SOの最新情報も！

平成 27 年 9 月 11 日に在籍児童生徒と卒業生保護者のみに知らせして公開しました。

皆様方へのご紹介は初めてです。どうぞよろしくお願いいたします。



「SCHOOL NEWS」  
「校長短信」  
バックナンバーが  
全て読めます。

YouTube の動画。  
まだ見てない方に  
紹介してね！

カウンターは  
もうすぐ(^^)   
7,000 になります。

小学3年 清水千佳さん